

## いよいよ、☆夢の新中学校☆が開校します！

田川市教育委員会 教育長 吉柳啓二

私は、この「GuRuMi」や住民説明会において、「教育委員会は、施設整備のハード面だけでなく、教育内容などのソフト面でも、最高の教育環境の“夢の新中学校”を創設するために全力を尽くします！」と述べてきました。

いよいよ、その新中学校が開校する4月が目前に迫ってきました。今回は、教育委員会・学校・PTA・地域・関係機関等が「最高の教育環境整備」を目指して進めてきた取組を紹介します。

### ①校舎の設備

まずは、現代的で明るく広い校舎に関する取組です。学年を超えて多目的な活動ができる「ラーニングセンター」を中心に「教室」「体育館・武道場」「給食調理室」等、全てが冷暖房完備となっています。また、各階には職員室とは別に各学年の教職員のミーティングルームがあり、その学年の生徒の見守りを行いながら、生徒からの質問・相談などを即座に受けられるような工夫をしています。これらの設備については、次ページに写真も載せていますので、ぜひご覧ください。

### ②生徒同士のつながりを深める取組

次に、8つの現中学校生徒たちのつながりを深める取組です。新中学校の開校を見越して、平成28年から市内中学校の生徒同士によるつながり作りを、生徒会サミットを中心に進めてきました。

第1回生徒会サミットは「新中学校に期待すること・不安なこと」をテーマに、各学校で話し合ったことを出し合いました。生徒たちの期待することは「冷暖房完備の素晴らしい校舎」「生徒数の増加による部活動の活性化」「自校方式のおいしい給食」「各中学校の良さや伝統が重なり合う新中学校」など、不安なことは「学校が遠くなる」「学校ごとのグループ化」などが出されました。

その後も、生徒会サミットは様々なテーマで14回開催され、「私たちの考える新中学校の制服」のテーマで議論した際に生徒たちから出された「LGBTQを意識した、スラックス・スカート・キュロットの選択制」は、「新中学校の制服」に取り入れられました。生徒たちは生徒会サミットを行う度に、新中学校づくりの担い手としての意欲を高めていきました。

これらの取組を受け、今後は、以下の3点を中心にソフト面の充実を図りたいと考えています。

- (1)小中一貫校である猪位金学園の成果を生かし、東中・西中学校区の小中学校で「目指す子ども像」「教育内容・方法」を共有し、小中学校の義務教育9か年で学力・社会性・個性を伸ばし、郷土愛を育む教育体制づくりを強化します。
- (2)新中学校のコンセプトである「地域とともにある学校」を実現するため、学校と地域が力を合わせて学校運営に取り組む「コミュニティ・スクール」と学校を核とした地域づくりを目指す「地域学校協働活動」を一体的に進めます。
- (3)新中学校を中心に田川の歴史・文化遺産(ひと・もの・こと)をフル活用して“熱い郷土愛”を育む「ふるさと教育」を強化していきます。



市民の皆様の熱い応援を  
ぜひ、お願いします！



# 新中学校 施設紹介

田川東中学校の新校舎には、普通教室や特別教室などで囲まれた中心に「ラーニングセンター」を設置しています。「ラーニングセンター」は生徒が利用しやすいオープンな空間とし、普通教室や少人数教室などと合わせ、個別学習からグループ学習まで集団の規模に応じた多様な学習ができる校舎となっています。



## 田川東中学校

場所：田川市大字夏吉197番地1  
(旧 伊田中学校敷地内)



● 中学校再編に関する問い合わせ  
田川市教育委員会 新中学校再編推進室 ☎85-7169



←市ホームページ



←ツイッター

市ホームページやツイッターでは「田川市中学校再編推進だより」や中学校再編に関する情報を掲載しています。

教えて! 再編ススムくん



令和5年4月  
開校予定

田川西中学校の新校舎の南側は教室や管理諸室を配置した「学校ゾーン」、北側は体育館や武道場等の「スポーツゾーン」で構成され、その間に学校の核となる「ラーニングセンター」や特別教室を配置することにより、生徒教職員の移動や動線を考慮した教室や体育館が一体のコンパクトな校舎となっています。



田川西中学校

場所：田川市大黒町11番6号  
(現 後藤寺中学校敷地内)



普通教室



校舎 (体育館と一体となっています)



体育館



ラーニングセンター

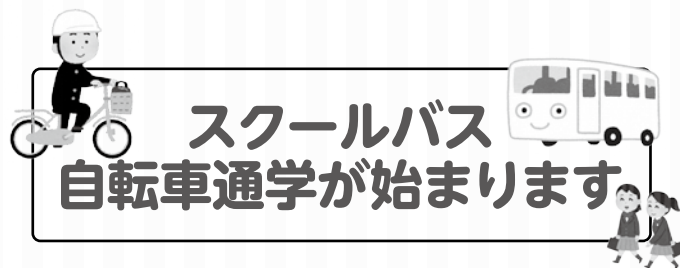
田川東中学校と田川西中学校では、3月に保護者や地域の方々などに向けた校舎内覧会を開催する予定にしています。詳細は、次号の広報たがわなどでお知らせします。

## 生徒主体の新中学校 開校に向けた取組 生徒会サミットを通して

市内の中学校では、平成28年から、各校の生徒会役員がテーマに沿って互いの取組や意見を交流する生徒会サミットを行ってきました。令和4年8月22日に田川青少年文化ホールで行われた第14回生徒会サミットでは、東グループ（鎮西中、伊田中、金川中、中央中）と西グループ（猪位金学園、弓削田中、後藤寺中、田川中）に分かれて意見発表を行いました。

このサミットに向けて、コロナ禍により対面での打合せが制限される中、リモート会議などを用いて、これまで各校で取り組んできた行事や伝統などを出し合いながら、発表の内容づくりを進めていきました。当日は、東・西のグループ毎に新中学校に引き継ぎたい行事や伝統、学習規律などについて発表をしました。

生徒会サミットに参加した生徒会役員からは、「各中学校で大事にしてきた取組や伝統を新中学校でも引き継いでいきたい気持ちが膨らんだ」「自分たちの力で、生徒や地域の方々にとって誇れる学校を創っていききたい」など、学校づくりに主体的に関わろうとする姿が見られました。



新中学校開校に伴い、自宅から学校までの通学距離が遠くなる生徒の通学を支援するため、許可制によるスクールバス及び自転車の通学を開始します。

### 【通学手段の基準表】

通学手段	学校から自宅がある地区までの直線距離		
	1.5km未満	1.5 km以上 2.0 km未満	2.0km以上
スクールバス	×	×	○※1
自転車	×※2	○	○
徒歩	○	○	○

※1 スクールバスと他の通学手段との併用はできません

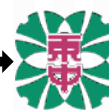
※2 1.5km未満でも部活動に入っている生徒は、自転車通学ができます

### バスルート



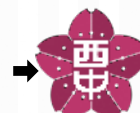
#### 【田川東中学校】

- ①岩屋 ……………金川農協經由
- ②田川団地 ………市立病院經由
- ③長浦 ……………田川市役所經由 →
- ④平原公民館 ……下伊加利經由
- ⑤城山団地 ………中央団地經由



#### 【田川西中学校】

- ⑥田川中学校 ……松原団地經由 →
- ⑦初井社宅 ………見立經由



## 新中学1年生に入学準備金を交付します！

少子化が進展するなか、社会全体で子育てを支援し、安心して子どもを産み育てやすい環境整備の一環として、中学校への入学時における家計負担の軽減を図るため、1人当たり5万円を交付します。

**交付対象者：**田川市に住民票があり、令和5年度に中学1年生となる児童がいる家庭

※対象者には別途通知を送付します。生活保護又は就学援助を受給されている場合は支給内容に入学準備金相当の費用が含まれているため対象になりません。

**交付額：**1人あたり5万円

**交付予定日：**3月末日

**交付方法：**保護者の本市登録口座（給食費用）へ振り込みます。

**申請方法：**申請は不要です。（ただし、登録口座が未登録の場合には、届出が必要です）

※詳細につきましては、田川市のホームページをご確認ください。

教育総務課 ☎85-7165

これまでの記事につきましては、  
ホームページにてカラー版を掲載しています。

